				シラ	ノヾ	ス			
科目名	名	ホスピタリ	ティサービス	担	1.当	者名	相川	奏恵	
学 科	ŀ		·ビス科フライトア ノトコース	į	受業プ	方法	語	<b>養</b>	
認定單開講学	·	2単位 1学年	開 講 期 必・選		必追	異	授業時間数	36時間	
授業目	目的		ュニケーション力と できる知識とスキノ				ピタリティマインドを	醸成し、質の高い	
授業 E (ラーニ アウトカ	ング						ቑ係を築く力を身に∼ いあるキャリア形成?		
授業概	既要						コミュニケーション力 を拡げ、やりがいあ		
			授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション・マ	マナーの基本		19	物の受け渡し			
	2	人間力とマナー・メラ	ビアンの法則		20	立ち居振る舞い(案内)			
	3	望ましい社会人(プロ	フェッショナルの姿)をネ	考える	21	立ち居振る舞い(案内)			
	4 目標について考える 発表				22	TDLのホスピタリティ①			
	5	自分の表情・態度を見	見つめる		23	TDLのホスピタ	リティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)			24	思いやりを伝え	る言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)			25	様々な産業のス	ホスピタリティ①		
授	8	表情・態度を見直す(	(動画チェック)		26	様々な産業のス	ホスピタリティ②		
業計	9	表現力を身につける	(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のス	ホスピタリティ③		
画表	10	敬語①				様々な産業のス	ホスピタリティ④		
	11	敬語②			29	様々な産業のホスピタリティ⑤			
	12	敬語③			30	利休七則と江戸	<b>ラしぐさ</b>		
	13	敬語でインタビュー	他己紹介		31	自己肯定感を	高める		
	14	自己理解①			32	自己管理と自己	已啓発		
	15	自己理解②			33	パーソナルブラ	シディング①		
	16	他者理解①			34	パーソナルブラ	ンディング②		
	17	他者理解②			35	目標管理①振	)返りと次のステップ		
	18	自己表現·相互理解			36	目標管理②振	)返りと次のステップ		
		テスト		80%	مدر	習FB方法	個人ワーク・グループ	プワーク発表評価とア	
成績害		学習態度・出席	率	20%	子	日FD万法	バイス、定	期テスト解説	
八八月百	и□	レポート			F		出席率80%以上 S90~100点 A80	~89 B70~79₺	
		合計		100%		2 212 SET 1144	C60~69点 D59点		
P/R/A/C	<del>了割合</del>						\$加型学習≫20 G≪海		
講師フィー		ル作成)を経て、現	在は日本講師協会に 役所・埼玉県産業振興	て電話応対	対・課題	<b>頸解決・新入社</b>	、・中堅社員研修、緊急 員研修等を実施。実績 日本旅行・りそな総研・	は環境庁・東京都福祉	

				シラ	ノバ	ス				
科目名	名	アマデウ	ス実習Ⅰ	担	当	者名		公仁子		
学 科   エアラインサービス科フライトア テンダントコース   授業方法   実習     認定単位   開講期					<b>美習</b>					
認定単開講学	·	2単位 1学年	開講期 必・選		必道	異	授業時間数 72時間			
授業目	目的							デウス」操作の習得。 、要な「基礎知識」を		
授業目 (ラーニ アウトカム	ング		操作、基礎知識を	学び「アマ	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゚゙゙゙゙゙゚゚	ス システム	会定(SPECIALIST)	」合格を目指す。		
授業概	既要	後、練習問題に	よって各自が操作	F技能、知	職を	積み上げて		って基本操作の学習 据え、ニュースなど 意識させる。		
			授業内容				授業内容			
	1	導入 授業の目的・目	標 基本操作 基礎知	1識	19	前期復習 エラ	ーメッセージ キャンセル	待ち ステータスコードの流		
	2	各種コード検索① 世	上界地図		20	フライトの変更・	キャンセル PNR項目の何	修正		
	3	各種コード検索② 主	医要航空会社		21	21 ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー				
	4	日本地図 タイムテー	ブル コードシェア ア	ライアンス	22	22 旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは				
	5	空席照会(オプション	・ショートカット)		23 SSR 各種ミール HELPページ					
	6	フライトスケジュール			24	SSR 連絡先(	CTCE CTCM			
	7	空席照会からの予約	会からの予約(ショートセル)			SSR フリークエ	iR フリークエントフライヤープログラム			
授	8	ロングセル ステータ	スコードとは フライトの	キャンセル	26	SSR シートリク	R シートリクエスト GGエントリー			
業計	9	PNRとは 旅客氏名(	大人)入力·修正		27	フライトインフォ	メーション(直行・経由便)			
画 表	10	連絡先 発券状況 這	送信元 完了		28	PNR作成練習	基礎知識総復習			
	11	完了 中断 完了後6	ウステータスコード PNF	Rの取出し	29	検定対策①				
	12	PNR作成練習			30	検定対策②				
	13	乗継便の予約・変更	マリードセグメント		31	検定対策③				
	14	ARNK オープンセク	<b>ブメント</b>		32	後期末試験対	策 			
	15	前期末試験対策			33	後期末試験				
	16	前期末試験			34	期末試験返却	解説 検定対策④			
	17	試験返却 解説			35	総まとめ				
	18	総まとめ			36	総まとめ				
		テスト		40%	丝	習FB方法	前期, 洛田對縣 字母	直後。試験返却をもって		
成績害		学習態度・出席	率	30%	子	日口刀伝	时朔 夜别武歌 夫肌	四次。 予選大阪24でもつ (		
八八八八百	1 [	レポート		30%	ь		出席率80%以上 \$90~100点 A80	)~89 B70~79点		
		合計		100%		人/與『丁川川	C60~69点 D59,			
P/R/A/C	3割合	P≪課題解決型	学習≫40% R≪実債	動実践型学習	9 ≫ 0	A≪主体的参		再外体感型学習≫10%		
講師フ		(株)日本航空にて- (株)アクセス国際ネ	予約、発券業務 ットワークにて学校教	女育担当講師	币					

				シフ						
科目名	名	接遇	手話 I	担	上当	者名	小川	奈緒子		
学科	+		・ビス科フライトア ノトコース	į	受業ス	方法				
認定單開講等		2単位 1学年	開講期 必・選		必道	選	授業時間数 36時間			
授業目	目的	①聴覚障がいる ②手話の基本を	<u>-</u> こついて理解する							
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	聴覚障がいの基 試験4級合格を		<u></u> 理解する。	簡単	iな自己紹介	・・会話の習得。 NPC	O法人手話技能検定		
授業棚		聴覚障がいの基 覚障がいゲスト		ケーション	手段	などの座学。	, 簡単な自己紹介・	日常会話の実技。聴		
			授業内容				授業内容			
	1	ガイダンス・導入			19	疑問詞のまとめ	(疑問詞を使った文章表	現)		
	2	伝える工夫(コミュニク	ケーション方法・挨拶のヨ	手話)	20	時制(1日・1週間の生活)				
	3	手話の基本(指文字・	挨拶・出来る/出来ない	•)	21	時制(四季・1年	寺制(四季・1年の生活)/都道府県名			
	4	手話の基本(指文字	・名前・学校名・好き/嫌	\\)	22	都道府県名	3道府県名			
	5	手話の基本(数の表	現・疑問詞の使い方)		23	聴覚障害と福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習				
	6	自己紹介(住所·出身	′地・県名・国名含む)	・県名・国名含む) 24 ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		手話の練習				
	7	自己紹介(人物·家族	(の表現)		25	ゲスト講師(聴覚	師(聴覚障がい者)を招いて			
授	8	自己紹介(誕生日・数	(字・時の表現)		26	聴覚障がいの物	いの特性を理解する・先週の感想等の共有			
業計	9	自己紹介(趣味の表現	見)		27	後期の復習/小				
画表	10	自己紹介(職業などの	)表現)		28	後期の復習/	手話ソング(Xmasソング)			
	11	前期の復習(自己紹介	介の総復習・表出の小デ	<sup>-</sup> スト)	29	時節の手話				
	12	前期の復習(自己紹介	介の総復習・読み取りの	小テスト)	30	1年間の総復習	E .			
	13	前期の復習			31	1年間の総復習	F .			
	14	前期の復習			32	後期末試験(表	出試験)			
	15	疑問詞(だれ・なぜ・と	ごちら・いくつ)		33	後期末試験(読	み取り/筆記試験)			
	16	前期末試験(表出試験	験)		34	試験の返却/	解説(後期の振り返り)			
	17	前期末試験(読み取り	)/筆記試験)		35	35				
	18	試験の返却/解説(値	前期の振り返り)		36					
		テスト		50%	学	習FB方法		ミュニケーション」(NPO		
成績害	訓合	学習態度・出席	率	40%	7			・聴・難聴者協会発行)		
沙人小只百	11 [	レポート		10%	F	<b></b>	出席率80%以上 S90~100点 A80	0~89 B70~79点		
		合計		100%		12561 184	C60~69点 D59			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型勻	学習≫20% R≪実働	実践型学習	≫40%	% A≪主体的	参加型学習≫40% G·	≪海外体感型学習≫0%		
講師コフィー		手話通訳士として記	構演会・会議・その他	日常生活で	の手言	舌通訳活動や ヨ	F話指導経験を積んで	いる。		

			シラ	/ \	^				
科目	名	国内地理·歷史 I	担	当	者 名	金田-	一栄子		
学科	4	エアラインサービス科フライトア テンダントコース	拉	受業に	5法	詩	義		
認定以開講等		2単位開講期1学年必・選		必追	星	授業時間数 36時間			
授業目	目的	地理的な視点から世の中のことを	· 見ることか	<b>ごでき</b>	るようになる	0			
授業 F (ラーニ アウトカ	ング	国内の観光資源について基本的いく。	な知識を	学ぶ	とともに、歴り	史、文化、風土につ	いても関心を広げ		
授業棚	既要	座学形式で各地の概要を学び、 調べた成果は発表し、全体で共							
		授業内容				授業内容			
	1	授業の概要と地図の使い方		19	9 京都·大坂·神戸				
	2	47都道府県と県庁所在地		20 三都プランニング					
3 地元自慢 21				三都プランニン					
4 北海道				22	近畿1(奈良·三重·和歌山)				
	5	東北地方6県		23	近畿2(兵庫・滋	<u> </u>			
	6	北海道·東北地方研究			中国1(広島・岡	7山)			
	7	北関東(茨城·栃木·群馬)			中国2(鳥取・島	<b>島根・</b> 山口)			
授	8	南関東(千葉·埼玉·神奈川)		26	四国地方 4県				
業計	9	東京		27	瀬戸内海の島	₽			
画表	10	伊豆·箱根		28	九州1(福岡・昻	長崎•佐賀)			
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・ナ	て分・熊本・鹿児島)			
	12	関東地方プランニング		30	沖縄				
	13	中部1(山梨·新潟·)		31	九州・沖縄プラ	ンニング			
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究				
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究				
	16	中部4(愛知·静岡)		34	テーマ別研究				
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーシ	raン			
	18	確認テスト		36	確認テスト・まと	め			
		テスト	30%	学	習FB方法	前期末•後期末	こ 成績表を配布		
成績害	割合	学習態度・出席率	40%						
		レポート 合計	30%	万	<b></b> 找績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80			
P/R/A/0	つ生山ム	「百 f f T	100%	KK 25	Λ // → H+ hh	C60~69点 D59点			

			シラ	バ	ス			
科目	名	ホスピタリティサービス	担	当	者名	相川	奏恵	
学 科   エアラインサービス科グランドス タッフコース   授業方法   講義     認定単位   別講期					義			
認定與開講等		2単位 開講期 1学年 必・選	授業時間数 36時				36時間	
用舑、	F-4-		1.1 1 1 1 1 1 2			o o but — A lock T	***	
授業目	目的	サービスを提供できる知識とス	ペキルを身に	つける				
授業 ト (ラーニ アウトカ	ング	対人関係において必要なマオマインドを身につけ社会で顧る。						
授業棚	<u> </u>	自他の理解を深め、望ましい 様々な業界のホスピタリティや 指す。						
		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19				
	2	人間力とマナー・メラビアンの法則		20	0 立ち居振る舞い(案内)			
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿	ミ)を考える	21	立ち居振る舞い(案内)			
	4	目標について考える 発表		22	22 TDLのホスピタリティ①			
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタ	リティ② 		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)			思いやりを伝え	る言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽や	かな挨拶)	25	様々な産業の対	ベスピタリティ①		
授 業	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業の対	な産業のホスピタリティ②		
計画	9	表現力を身につける(気持ちを表現する	5力)	27	様々な産業の対	な産業のホスピタリティ③		
表	10	敬語①		28	様々な産業の対	ヾスピタリティ④		
	11	敬語②		29	様々な産業の対	ベスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸	<b>FLぐさ</b>		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を高	高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己	1.啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブラ	ンディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブラ	ンディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振	)返りと次のステップ		
18 自己表現・相互理解 36 目標管理②振り返りと次のステップ								
		テスト 学習態度・出席率	80%	学	習FB方法	個人ワーク・グループ バイス、定其		
成績智	割合	子自思及・山州学レポート	20%			出席率80%以上 S90~100点 A80~	×80 B70~.70 ≒	
		合計	100%		以限計価 	S90~100点 A80~ C60~69点 D59点		
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫50 R						
講師コフィー		エアーニッポン(㈱にてキャビンアテンル作成)を経て、現在は日本講師協保健局・八王子市役所・埼玉県産業養ビルテクノサービス等	会にて電話応え	付・課題	<b>頸解決・新入社</b>	員研修等を実施。実績は	は環境庁・東京都福祉	

				シラ	バ	ス		
科目	名	アマデウ	ス実習 I	担	. 当 =	者名	小泉	公仁子
学 科 エアラインサービス科グランドス タッフコース 授業方法 実習   認定単位 2単位 開講期				<b>美習</b>				
		2単位	開講期		必選 授業時間数 72時間 が選社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の			
開講学	产于	1学年 サリカータイのま	必・選 な行会社 転空/	  -   計で到E			 	デウス   榀作の翌得
授業目	目的							ない 基礎知識」を
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	  国際線予約の操	作、基礎知識を	学び「アマ	゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゚゙゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚	ス システム	倹定(SPECIALIST)	」合格を目指す。
授業棚	既要	後、練習問題に。	よって各自が操作	<b>F技能、</b> 知	識を	積み上げて		って基本操作の学習 L据え、ニュースなど 意識させる。
			授業内容				授業内容	
	1	導入 授業の目的・目	標 基本操作 基礎知	1識	19	前期復習 エラれ	ーメッセージ キャンセル	待ち ステータスコードの流
	2	各種コード検索① 世	界地図		20	フライトの変更・	キャンセル PNR項目の	<b>修正</b>
	3	各種コード検索② 主	要航空会社		21	ダイレクトアクセ	ス アクセスレベル GG=	エントリー
4 日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス 22 旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは					Rとは			
	5 空席照会(オプション・ショートカット)				23	SSR 各種ミーク	レ HELPページ	
	6	フライトスケジュール			24	SSR 連絡先(	CTCE CTCM	
	7	空席照会からの予約(	ショートセル)		25	SSR フリークエ	ントフライヤープログラム	
授業	8	ロングセル ステータス	スコードとは フライトの	キャンセル	26	SSR シートリク	エスト GGエントリー	
計画	9	PNRとは 旅客氏名(ナ	r人)入力·修正		27	フライトインフォ	メーション(直行・経由便)	
表	10	連絡先 発券状況 送	信元 完了		28	PNR作成練習	基礎知識総復習	
	11	完了 中断 完了後の	ステータスコード PNF	Rの取出し	29	検定対策①		
	12	PNR作成練習			30	検定対策②		
	13	乗継便の予約・変更	マリードセグメント		31	検定対策③		
	14	ARNK オープンセグ	メント		32	後期末試験対象	<del>策</del>	
	15	前期末試験対策			33	後期末試験		
	-	前期末試験			34		解説 検定対策④	
		試験返却 解説				総まとめ		
	18	総まとめ		1	36	総まとめ		
		テスト 学習態度・出席率	 玄	40% 30%	学	習FB方法	前期•後期試験実施	直後。試験返却をもって
成績害	削合	レポート	•	30%	F		出席率80%以上 S90~100点 A80	)~89 B70~79点
		合計		100%			C60~69点 D59	点以下は不合格
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型勻	学習≫40% R≪実債	動実践型学習	∄≫0	A≪主体的参加	n型学習≫50% G≪海	好外体感型学習≫10%
講師コフィー		(株)日本航空にて予 (株)アクセス国際ネッ		女育担当講館	币			

			シラ	``				
科目	名	国内地理·歷史 I	担	当	者名	金田-	—————————————————————————————————————	
学和	+	エアラインサービス科グランドス タッフコース	1	受業に	方法	請	義	
認定單開講等		2単位開講期1学年必・選	Г	必追	遥	授業時間数	36時間	
授業目	目的	地理的な視点から世の中のこと	を見ることか	ぶでき	るようになる	0		
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	国内の観光資源について基本的 いく。	内な知識を	学ぶ	とともに、歴	史、文化、風土につ	いても関心を広げ	
授業概	既要	座学形式で各地の概要を学び、 調べた成果は発表し、全体で共						
		授業内容				授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	9 京都·大坂·神戸			
	2	47都道府県と県庁所在地		20	20 三都プランニング			
	3	地元自慢		21 三都プランニング				
4 北海道 22 近畿1(奈良·三重·和歌山)				近畿1(奈良·三重·和歌山)				
	5	東北地方6県			近畿2(兵庫・滋	滋賀)		
	6	北海道·東北地方研究			中国1(広島・岡	到山)		
	7	北関東(茨城·栃木·群馬)			中国2(鳥取・島	<b>島根・</b> 山口)		
授	8	南関東(千葉·埼玉·神奈川)	玉•神奈川)		四国地方 4県			
業計	9	東京		27	瀬戸内海の島	ÞĮ .		
画表	10	伊豆·箱根		28	九州1(福岡・長	長崎·佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・ナ	大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄			
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プラ	ンニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究			
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究			
	16	中部4(愛知·静岡)		34	テーマ別研究			
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーシ	/aン		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まと	<b>こ</b> め		
		テスト	30%	学	習FB方法	前期末・後期末	こ 成績表を配布	
成績害	削合	学習態度・出席率	40%	,			,,, and 19	
		レポート 合計	30%	万 万	<b>戈績評価</b>	出席率80%以上 S90~100点 A80		
	G割合	一 iT FT P≪課題解決型学習≫50% R	100%	)/ <del>77</del>	. " > Hills	C60~69点 D59点		

			シラ	バ	ス			
科目	エアラインサービス科グランドス タッフコース			1.当	者名	千葉	<b>万</b>	
学系						<b>葬義</b>		
認定學		2単位 開講期 1学年 必・選		必道	<u> </u>	授業時間数 36時間		
授業目	目的	トラブルに巻き込まれない、ト	ラブルを起こる	きない				
授業 F (ラーニ アウトカ	ング	ITリテラシーを身に付け、情報	報の取捨選択					
授業棚	既要	情報リテラシー 情報を正しく ネットワークリテラシー ネット コンピュータリテラシー パソ	ワークやセキ	ュリテ			に付ける	
		授業内容				授業内容		
	1	ガイダンス		19	9 ネット社会に潜む危険と対策			
	2	ガイダンス		20	ネット社会に潜む危険と対策			
	3	ガイダンス		21	メールによるコミュニケーション			
	4	ガイダンス自己紹介・自分のパソコンを	:調べよう	22 メールによるコミュニケーション				
	5 SNSのトラブル事例を調べよう			23	Webによるコミュ	ュニケーション		
	6	CPUの種類、周辺機器を調べよう			Webによるコミュ	ュニケーション		
	7	コンピュータシステム		25	モバイル機器の	)活用と管理		
授	8	コンピュータシステム		26	モバイル機器の	後器の活用と管理		
業計	9	コンピュータシステム		27	ネットワークの仕			
画表	10	コンピュータシステム		28	ネットワークのイ	上組み		
	11	情報化社会のモラルとセキュリティ		29	Webページを作	■成してみよう		
	12	情報化社会のモラルとセキュリティ		30	Webページを作	■成してみよう		
	13	個人情報の適切な取り扱い		31	Webページを作	■成してみよう		
	14	個人情報の適切な取り扱い		32	学年末試験			
	15	デジタル時代の著作権		33	学年末試験の角	解答解説		
	16	デジタル時代の著作権		34	ガイダンス			
	17	前期期末試験 35 ガイダンス						
18 前期期末試験の解答解説 36 ガイダンス								
		テスト	70%	学	習FB方法			
成績割	割合	学習態度・出席率 レポート	30%			出席率80%以上		
		合計	100%	J.	<b></b>	S90~100点 A80 C60~69点 D59点		
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫50%	R≪実働実践型	学習≫	A≪主体的参	\$加型学習≫50% G≪海	F外体感型学習≫	
講師プ	プロ	商社にて国内営業のアシスタントと 験及び、新入社員研修など企業研	して、事務処理(	商品の	)入出庫管理、	見積書の作成、売上の	月次処理など)の実	

			シラ		ス			
科目名	ェアラインサービス科グランドハ			当	者名	相川	奏恵	
学 科	<del> </del>		^ i	受業ス	方法	計	<b>購</b> 義	
認定單開講学		2単位開講期1学年必・選		必道	巽	授業時間数	36時間	
授業目	目的	感じの良いコミュニケーションナ サービスを提供できる知識とス				ピタリティマインドを	醸成し、質の高い	
授業 E (ラーニ アウトカ	ング	対人関係において必要なマナ マインドを身につけ社会で顧客 る。						
授業概	既要	自他の理解を深め、望ましいま様々な業界のホスピタリティやり 指す。						
		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション・マナーの基本		19	物の受け渡し			
	2	人間力とマナー・メラビアンの法則		20	立ち居振る舞い(案内)			
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)	を考える	21	立ち居振る舞り	・(案内)		
	4 目標について考える 発表			22	TDLのホスピタリティ①			
	5	自分の表情・態度を見つめる		23	TDLのホスピタ	リティ②		
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)			思いやりを伝え	る言葉遣い		
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やか	な挨拶)	25	様々な産業のス	ホスピタリティ①		
授	8	表情・態度を見直す(動画チェック)		26	様々な産業のス	ホスピタリティ②		
業計	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)		27	様々な産業のス	ホスピタリティ③		
画表	10	敬語①		28	様々な産業のホスピタリティ④			
	11	敬語②		29	様々な産業のス	ホスピタリティ⑤		
	12	敬語③		30	利休七則と江戸	<b></b>		
	13	敬語でインタビュー 他己紹介		31	自己肯定感を	高める		
	14	自己理解①		32	自己管理と自己	己啓発		
	15	自己理解②		33	パーソナルブラ	シンディング①		
	16	他者理解①		34	パーソナルブラ	シンディング②		
	17	他者理解②		35	目標管理①振	り返りと次のステップ		
	18	自己表現·相互理解		36	目標管理②振	り返りと次のステップ		
		テスト	80%	学	習FB方法		プワーク発表評価とア	
成績害	訓合	学習態度·出席率	20%		<u> </u>	/-	期テスト解説 	
/////// 口	7 🗖	レポート		j.	<b></b>		0~100点 A80~89月 69点 D59点以下は7	
		合計	100%			合格		
P/R/A/C 講師ご フィー	プロ	P《課題解決型学習≫50 R《 エアーニッポン(株)にてキャビンアテン ル作成)を経て、現在は日本講師協: 保健局・八王子市役所・埼玉県産業: 菱ビルテクノサービス等	ダント及び教育 会にて電話応募	育訓練 対・課題	教官業務(新 <i>)</i> 題解決•新入社	、・中堅社員研修、緊急 :員研修等を実施。 実績	保安訓練教育とマニュ は環境庁・東京都福祉	

				シラ		<u>ス</u>			
科目名 アマデウス実習 I 担当者名 小泉公仁子					公仁子				
子 科 ンドリングコース   認定単位 関 講 期					<del>"</del>	<b>丰</b> 習			
		2単位	開講期 必・選 必選 授業時間数 72時間					72時間	
開講学	学年	1学年		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				デウス」操作の習得。	
授業目	目的							要な「基礎知識」を	
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	国際線予約の操	操作、基礎知識を管	学び「アマ	゚゚゚゙デウ	ス システム	倹定(SPECIALIST)	」合格を目指す。	
授業概	既要	後、練習問題に	よって各自が操作	技能、知	職を	積み上げて		って基本操作の学習 据え、ニュースなど 意識させる。	
			授業内容				授業内容		
	1	導入 授業の目的・目	標 基本操作 基礎知	識	19	前期復習 エラれ	ーメッセージ キャンセル	待ち ステータスコードの流	
	2	各種コード検索① 世	:界地図		20	フライトの変更・	キャンセル PNR項目の値	<b>沙</b> 正	
	3	各種コード検索② 主	要航空会社		21 ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー				
	4	日本地図 タイムテー	ブル コードシェア ア	アライアンス 22 旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは					
	5 空席照会(オプション・ショートカット) 23 SSR 各種ミール HELPページ								
	6	フライトスケジュール			24	SSR 連絡先(	CTCE CTCM		
	7	空席照会からの予約	(ショートセル)		25	SSR フリークエ	ントフライヤープログラム		
授	8	ロングセル ステータン	スコードとは フライトの:	キャンセル	26	SSR シートリク	エスト GGエントリー		
業計画	9	PNRとは 旅客氏名(	大人)入力·修正		27	フライトインフォ	メーション(直行・経由便)		
声表	10	連絡先 発券状況 送	经信元 完了		28	PNR作成練習	基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後の	)ステータスコード PNF	Rの取出し	29	検定対策①			
	12	PNR作成練習			30	検定対策②			
	13	乗継便の予約・変更	マリードセグメント		31	検定対策③			
	14	ARNK オープンセグ	メント		32	後期末試験対象	衰		
	15	前期末試験対策			33	後期末試験			
	16	前期末試験			34	期末試験返却	解説 検定対策④		
	17	試験返却 解説	<ul><li>取解説</li><li>35 総まとめ</li></ul>						
	18	総まとめ			36 総まとめ				
		テスト		40%	学	習FB方法	前期•後期試験実施	1後。試験返却をもって	
成績害	割合	学習態度・出席:	率	30%					
		レポート		30%	万	<b></b> 战績評価			
D /= /	out 1. A	合計	00 Titl 10 4 6 9 7	100%	7		THE OVERTICAL THE PARTY AND A STATE OF THE OWNER O	- LI II A Tri No ster	
P/R/A/0	J割合	P≪課題解決型:	子省≫40% R≪実債	動実践型学習	∄≫0	A≪主体的参	n型学習≫50% G≪海	#外体感型学習≫10%	
講師プロ (株)日本航空にて予約、発券業務 フィール (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					币				

				シフ			T			
科目名 接遇手話 I 担当者名 小川 奈緒子   学 科 エアラインサービス科グランドハ 及業方法 接業方法 講義				奈緒子						
学科	ŀ		ビス科グランドハ グコース	į.	受業プ	美方法 講義				
認定單	·	2単位 1学年	開 講 期 必・選		必道	<b></b>	授業時間数 36時間			
授業目	目的	①聴覚障がいる ②手話の基本を	<u>-</u> こついて理解する							
授業目(ラーニ	ング		基礎知識を学び、現	里解する。	簡単	iな自己紹介	・会話の習得。NPC	O法人手話技能検定		
授業相		聴覚障がいの基 覚障がいゲスト		ケーション	手段	などの座学。	。簡単な自己紹介・	日常会話の実技。聴		
			授業内容				授業内容			
	1	ガイダンス・導入			19	疑問詞のまとめ	(疑問詞を使った文章表	現)		
	2	伝える工夫(コミュニケ	ケーション方法・挨拶のヨ	手話)	20	時制(1日·1週	1日・1週間の生活)			
	3	手話の基本(指文字・	挨拶・出来る/出来ない	•)	21	時制(四季・1年	四季・1年の生活)/都道府県名			
	4	手話の基本(指文字・	・名前・学校名・好き/嫌	<i>۱</i> ۱)	22	都道府県名	府県名			
	5	手話の基本(数の表現	現・疑問詞の使い方)		23	聴覚障害と福祉	覚障害と福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習			
	6	自己紹介(住所・出身	'地・県名・国名含む'		24	ゲスト授業事前	学習(ろう文化等)/接遇	手話の練習		
	7	自己紹介(人物・家族	の表現)		25	ゲスト講師(聴覚	椿師(聴覚障がい者)を招いて			
授	8	自己紹介(誕生日・数	字・時の表現)		26	聴覚障がいの物	がいの特性を理解する・先週の感想等の共有			
業計	9	自己紹介(趣味の表明	見)		27	後期の復習/小	の復習/小テスト			
画 表	10	自己紹介(職業などの	表現)		28	後期の復習/	手話ソング(Xmasソング)			
	11	前期の復習(自己紹介	个の総復習・表出の小テ	<sup>-</sup> スト)	29	時節の手話				
	12	前期の復習(自己紹介	个の総復習・読み取りの	小テスト)	30	1年間の総復習	7			
	13	前期の復習			31	1年間の総復習	7			
	14	前期の復習			32	後期末試験(表	出試験)			
	15	疑問詞(だれ・なぜ・と	<u>*</u> *ちら・いくつ)		33	後期末試験(読	み取り/筆記試験)			
	16	前期末試験(表出試験	<b>)</b>		34	試験の返却/ク	解説(後期の振り返り)			
	17	前期末試験(読み取り	)/筆記試験)		35	35				
	18	試験の返却/解説(前	前期の振り返り)		36					
		テスト		50%	学	習FB方法		ミュニケーション」(NPO		
成績害	訓合	学習態度・出席	率	40%	40%					
PANIS D	4 LJ	レポート		10%	——— 成績評価 S90~100点、A80~89点、B70~7					
		合計		100%						
P/R/A/0	S割合	P≪課題解決型勻	学習≫20% R≪実働	実践型学習	≫40%	6 A≪主体的	参加型学習≫40% G	≪海外体感型学習≫0%		
講師プ		手話通訳士として討	構演会・会議・その他↓	日常生活で	の手言	舌通訳活動や ヨ	<b>F話指導経験を積んで</b>	いる。		

			シラ	``				
科目	名	国内地理·歷史 I	担	当	者名	金田-	一栄子	
学科	¥	エアラインサービス科グランドハ ンドリングコース	1	受業に	方法	詩	義	
認定單開講等		2単位 開講期 1学年 必・選		- 必道	<u> </u>	授業時間数 36時間		
授業目	目的	地理的な視点から世の中のことを	を見ることか	ぶでき	るようになる	0		
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	国内の観光資源について基本的いく。	りな知識を	学ぶ	とともに、歴	史、文化、風土につ	いても関心を広げ	
授業棚	既要	座学形式で各地の概要を学び、 調べた成果は発表し、全体で共						
		授業内容				授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方		19	9 京都·大坂·神戸			
	2	47都道府県と県庁所在地		20 三都プランニング				
3 地元自慢 21 三都プランニング								
4 北海道			22	近畿1(奈良·三重·和歌山)				
	5	東北地方6県			近畿2(兵庫·濱	滋賀)		
	6	北海道·東北地方研究			中国1(広島・岡	7月(1)		
	7	北関東(茨城·栃木·群馬)			中国2(鳥取・島			
授	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		26	四国地方 4県			
業計	9	東京		27	瀬戸内海の島	Þ.		
画表	10	伊豆·箱根		28	九州1(福岡・長	長崎·佐賀)		
	11	関東地方プランニング		29	九州2(宮崎・力	大分・熊本・鹿児島)		
	12	関東地方プランニング		30	沖縄			
	13	中部1(山梨・新潟・)		31	九州・沖縄プラ	ンニング		
	14	中部2(長野・岐阜)		32	テーマ別研究			
	15	中部3(福井・石川・富山)		33	テーマ別研究			
	16	中部4(愛知•静岡)		34	テーマ別研究			
	17	中部地方プランニング		35	プレゼンテーシ	/aン		
	18	確認テスト		36	確認テスト・まと	か		
		テスト	30%	学	習FB方法	前期末•後期末	に 成績表を配布	
成績害	割合	学習態度·出席率	40%	J	H. 5// IA			
		レポート	30%	万	<b></b> 找績評価	出席率80%以上 ~89 B70~79点		
P/R/A/0	add A	合計 P≪課題解決型学習≫50% R≪	100%	० प्रतस्य ५	A # 2 11.11	点以下は不合格	5月14日2011111111111111111111111111111111111	

			シラ	バ	ス				
科目名 ホスピタ		ホスピタリティサービス	担	担当者名		相川 奏恵			
学 科		エアラインサービス科エアラインビジ ス・大学コース	汴	授業方法		講義			
認定単位		2単位 開講期	, ,		13	授業時間数	36時間		
開講学	产牛	1学年 必・選		必追	<u>英</u>				
授業目	目的	感じの良いコミュニケーションフ サービスを提供できる知識とス	つける	· >					
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	対人関係において必要なマナーを身につけ、良好な人間関係を築く力を身につける。ホスピタリティマインドを身につけ社会で顧客と喜びを分かち合い、やりがいあるキャリア形成を目指す力を構築する。							
授業棚	既要	   自他の理解を深め、望ましいる   様々な業界のホスピタリティや   指す。							
		授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション・マナーの基本			物の受け渡し				
	2	人間力とマナー・メラビアンの法則			立ち居振る舞い(案内)				
	3	望ましい社会人(プロフェッショナルの姿)を考える			立ち居振る舞い(案内)				
	4	目標について考える 発表			TDLのホスピタリティ①				
	5	自分の表情・態度を見つめる			TDLのホスピタリティ②				
	6	望ましい話し方(声の出し方・活舌・スピード)			思いやりを伝える言葉遣い				
	7	挨拶の言葉を考える(明るい挨拶・爽やかな挨拶)			様々な産業のホスピタリティ①				
授	8	表情・態度を見直す(動画チェック)			様々な産業のな	ベスピタリティ②			
業計	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)			様々な産業のホスピタリティ③				
画 表	10	敬語①			様々な産業のホスピタリティ④				
	11	敬語②			様々な産業のホスピタリティ⑤				
	12	敬語③			利休七則と江戸しぐさ				
	13	敬語でインタビュー 他己紹介			自己肯定感を高める				
	14	自己理解①			自己管理と自己啓発				
	15	自己理解②			パーソナルブランディング①				
	16	他者理解①			パーソナルブランディング②				
	17	他者理解②			目標管理①振り返りと次のステップ				
	18	自己表現·相互理解			目標管理②振り返りと次のステップ				
		テスト 80%			習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアド			
<b>成結</b> 生		学習態度・出席率	20%	7.	DI DATA	バイス、定期テスト解説			
成績割合		レポート		成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不			
		合計	100%		×ηστη Iμί	合格			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫50 R<							
講師コフィー		エアーニッポン㈱にてキャビンアテンル作成)採用面接官を経て、現在は東京都福祉保健局・八王子市役所・産・SEGA・ファミリーマート・三菱ビル	日本講師協会 埼玉県産業振	こて電 興公社	話応対・課題角	解決·新入社員研修等を	と実施。実績は環境庁・		

				シラ	バ	ス			
科目名		アマデウス実習 I 担		1 当 者 名		小泉 公仁子			
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネ ス・大学コース		ł	授業方法		実習		
認定単		2単位	開講期		2/25	ia.	授業時間数	72時間	
開講学	产牛	1学年	必・選 歩行会社 転売る	シナベチル	単され	_	子約シフテム「アつ	デウスト場佐の羽伊	
授業目	目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」 身につける。							
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウスシステム検定(SPECIALIST)」合格を目指す。							
授業棚	既要	後、練習問題に	よって各自が操作	F技能、知	1識を	積み上げて		って基本操作の学習 上据え、ニュースなど で意識させる。	
			授業内容				授業内容		
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識			19	前期復習 エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流 れ			
	2	各種コード検索① 世界地図			20	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正			
	3	各種コード検索② 主要航空会社			21	ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー			
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス			22	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは			
	5	空席照会(オプション・ショートカット)			23	SSR 各種ミール HELPページ			
	6	フライトスケジュール			24	SSR 連絡先 CTCE CTCM			
	7	空席照会からの予約(ショートセル)			25	SSR フリークエントフライヤープログラム			
授業	8	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル			26	SSR シートリク	エスト GGエントリー		
計画	9	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正			27	フライトインフォ	メーション(直行・経由便) 		
表	L.	連絡先 発券状況 送信元 完了			28	PNR作成練習	基礎知識総復習		
	11	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し			29	検定対策①			
	12	PNR作成練習			30	検定対策② 			
	-	乗継便の予約・変更 マリードセグメント			31	検定対策③			
	14	ARNK オープンセグメント			32				
	-	前期末試験対策			33	後期末試験			
	-	前期末試験			34	期末試験返却・解説 検定対策④			
		試験返却 解説				総まとめ			
	18	総まとめ			36	総まとめ			
		テスト 40%   学習態度・出席率 30%		学習FB方法		前期•後期試験実施	直後。試験返却をもって		
成績害	割合	レポート	·	30%					
		合計		100%	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	人//貝 (十			
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型	学習≫40% R≪実債	動実践型学習	3≫0	A≪主体的参加	n型学習≫50% G≪液	每外体感型学習≫10%	
講師フィー		(株)日本航空にて <sup>3</sup> (株)アクセス国際ネ	予約、発券業務 ットワークにて学校教	女育担当講!	師				
		•							

				シラ	バ	ス			
科目名		接遇手話 I		担	担当者名		小川 奈緒子		
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネ ス・大学コース		į	授業方法		講義		
認定単位		2単位 開	講期				授業時間数	36時間	
開講生	学年	1学年 业	公・選		必追	)	汉 未 时 间 奴	2014년[11]	
授業目	目的	①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ							
授業 l (ラーニ アウトカ	ング	聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定 試験4級合格を目指す。							
授業権	既要	聴覚障がいの基礎知識 覚障がいゲスト講師との		ケーション	手段	などの座学。	簡単な自己紹介・	日常会話の実技。聴	
		授業内	內容				授業内容		
	1	ガイダンス・導入			19	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)			
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			20	時制(1日・1週間の生活)			
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			21	時制(四季・1年の生活)/都道府県名			
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			22	都道府県名			
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)			23	聴覚障害と福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習			
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習			
	7	自己紹介(人物・家族の表現)			25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて			
授	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)			26	聴覚障がいの物	特性を理解する・先週の感	対象の共有	
業計	9	自己紹介(趣味の表現)			27	後期の復習/小テスト			
画表	10	自己紹介(職業などの表現)			28	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)			
	11	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			29	時節の手話			
	12	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			30	1年間の総復習			
	13	前期の復習			31	1年間の総復習			
	14	前期の復習			32	後期末試験(表出試験)			
	15	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・1 くつ)			33	後期末試験(読み取り/筆記試験)			
	16	前期末試験(表出試験)			34	試験の返却/解説(後期の振り返り)			
	17	前期末試験(読み取り/筆記記	式験)		35				
	18	試験の返却/解説(前期の振り返り)			36				
成績割合		テスト 50%			学習FB方法		使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPC		
		学習態度・出席率		40%			法人東京都中途失聴・難聴者協会発行)		
		レポート 合計		10%	成績評価		出席率80%以上   \$90~100点、A80~89点、B70~79点、   C60~69点、D59点以下は不合格		
P/R/A/G割合									
講師ごフィー	プロ	手話通訳士として講演会・					<b>-話指導経験を積</b> んでし	いる。	

				シラ					
科目名 国内地理·歷史 I		担	担当者名		金田一 栄子				
学 科		エアラインサービス科エアラインビジネ ス・大学コース			授業方法		講義		
認定単位開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選		必選		授業時間数	36時間	
授業目	目的	地理的な視点から世の中のことを見ることが				るようになる	0		
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。							
授業概	既要		他の概要を学び、そ Ě表し、全体で共有						
			授業内容				授業内容		
	1	授業の概要と地図の使い方			19	京都・大坂・神戸			
	2	47都道府県と県庁所在地			20	三都プランニング			
	3	地元自慢			21	三都プランニング			
	4	北海道			22	近畿1(奈良·三重·和歌山)			
	5	東北地方6県			23	近畿2(兵庫·滋賀)			
	6	北海道·東北地方研究			24	中国1(広島·岡山)			
	7	北関東(茨城·栃木·群馬)			25	中国2(鳥取·島根·山口)			
授	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)				四国地方 4県			
業計	9	東京			27	瀬戸内海の島々			
画表	10	伊豆•箱根			28	九州1(福岡・長崎・佐賀)			
	11	関東地方プランニング			29	九州2(宮崎·大分·熊本·鹿児島)			
	12	関東地方プランニング			30	沖縄			
	13	中部1(山梨·新潟·)			31	九州・沖縄プランニング			
	14	中部2(長野・岐阜)			32	テーマ別研究			
	15	中部3(福井・石川・富山)			33	テーマ別研究			
	16	中部4(愛知·静岡)			34	テーマ別研究			
	17	中部地方プランニング			35	プレゼンテーション			
	18	確認テスト			36	確認テスト・まとめ			
		テスト 30%			学	学習FB方法 前期末·後期末 成績		成績表を配布	
成績割合 P/R/A/G割合		学習態度・出席率 40%			成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A8 ~89 B70~79点 C60~69点 D5 点以下は不合格		
		レポート 30%							
		合計 100%							